

暮らしのたより

11月 - 1 2 ③ 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

11月の健康だより

☎ 保健婦人センター 64-8992

☆乳児相談

該当児 平成2年1月と7月生まれ

☆離乳食講習会

該当者 生後2~5カ月の赤ちゃんを持つ母親や祖母

☆1歳6ヵ月児健康審査

該当児 平成元年4月生まれ

☆むし歯予防教室

該当児 2歳~3歳の幼児

☆3歳児健康診査

該当児 昭和62年10月生まれ

★日時、会場は健康カレンダーをごらんください。

犬、猫の引き取り日

☎ 環境衛生課 内線 2432

飼えなくなった犬、猫の引き取りは各会場15分です。当日は愛犬手帳をお持ちください。なお、飼えなくなって出した犬、猫はお返してできませんので御注意ください。また、野良猫の捕獲、引き取りはいたしません。

◇11月2日(金)、30日(金)

田子浦公民館9:00、富士公民館9:30

◇11月9日(金)、21日(金)

吉永公民館9:00、市役所西口9:30、
広見公民館10:00、大淵公民館10:30
鷹岡公民館12:00

糖尿病予防講演会

☎ 保健婦人センター 64-8992

とき 11月13日 14:00~16:00

ところ 保健婦人センター

演題 「糖尿病の予防と日常生活」

講師 山田治男先生(市立中央病院)
申し込み

受講を希望する人は、当日直接会場にお出かけください。

全国街路交通情勢調査 (OD調査)に御協力を

☎ 都市計画課 内線 2412

全国一斉に自動車の利用状況を調べる全国街路交通情勢調査(オーナーインタビューOD調査)が行われます。調査対象者は無作為抽出となります。選ばれた人には、11月上旬にはがきでお知らせし、11月13日までに調査員が伺いますので、御協力をお願いします。
調査日 11月14日・18日
対象 市内全域

せきすい 脊髄小脳変性症医療相談会

☎ 保健婦人センター 64-8990

市と富士市難病連は、脊髄小脳変性症の皆さんの療養生活が少しでも改善されるよう、医療相談会を行います。

とき 11月10日 13:00~16:00

ところ 市立中央病院 2階会議室

相談員 結城研司先生(市立中央病院 脳外科部長)、医療ケースワーカー
問い合わせ 富士市難病連事務局(島田直方)へ ☎52-5358

11月の歩く会

☎ 文化体育課 内線 2723

とき 11月18日 雨天は25日

ところ 野田山(富士川町)

集合 富士駅改札前 8:30

コース 富士駅→新蒲原駅~野田山
行程約10キロ

持ち物 弁当、水筒、雨具など

問い合わせ

事務局(桑原方) ☎52-2764

11月の献血

☎ 社会課 内線 2312

日	場所	時間
2日(金)	富士警察署前	9:30~11:30
15日(木)	市役所西口	9:30~15:30
24日(土)	JR富士駅前	10:00~16:00

民話テレホンサービス ☎53-1111

10/22~11/4 増川の黒仏さん 須津中
11/5~18 川成島の旗立八幡 田子浦中

ありがとう ございました

国勢調査は調査票の回収を終了しました。御協力ありがとうございました。調査結果は、これからの日本を考える基礎資料として役立たせます。



総務庁統計局 富士市

健康コーナー

鼻づまり



鼻づまりには、鼻の中を空気が通らない本当の鼻閉と、空気が通るが、つまった感じのする鼻閉感があります。

鼻閉感には鼻の中に部分的な鼻づまりがあるために感じますが、他の部分は空いているため鼻で呼吸ができます。

鼻づまりの原因には、①鼻の中の腫れ、②鼻中隔彎曲症(鼻を左右に分けるしきりの板が曲がった状態のために鼻の中が狭くなる)、③子どもに多い

鼻の中の奥の部分(アデノイド)を増殖させる原因として鼻の中のできものである腫瘍などが、あげられます。

鼻の中の腫れの原因には、副鼻腔炎(いわゆる蓄膿症)、肥厚性鼻炎、アレルギー性鼻炎などがあり、それぞれ治療が必要となります。

鼻中隔彎曲症の彎曲が強い場合は、手術による治療が必要です。

その他、片側の鼻だけ常につまる病気があります。この原因のひとつには鼻の中に腫瘍ができる場合もあり、この腫瘍には悪性のものもあるため、悪臭のある鼻汁や、鼻出血をとまったときなど、特に注意が必要です。この

ような症状があるときは、必ず専門医の診察を受けてください。

多少の鼻づまりはだれにでもあるもので、左右かわるがわる鼻がつまったり、体を横向にして寝たときに下になった側の鼻がつまるなどの症状は、自律神経の正常の働きのため、あまり心配することはありません。

(富士市医師会)

レター通信

食欲の秋です。しかしあまりに大食するのは肥満のもとです。この季節は運動するにもいい時ですので、少なく食べて、体を動かすようにしましょう。